



T-LINE eco₂

T-NEO eco₂ トーンヴェルク蓄熱型ストーブ取扱説明書

eco₂ ~ 高効率・快適性・クリーン



自動空気供給

T-LINE eco₂ / T-NEO eco₂はサーモスタット制御された自動閉鎖弁が付いており、燃焼終了後は、空気供給弁が自動的に閉じられます。

これによって蓄熱型薪ストーブが早く冷やされることなく、長時間に亘って熱を放出いたします。



自動閉鎖ドア

T-LINE eco₂ / T-NEO eco₂の燃焼室ドアは、自動で閉まりロックされます。このとき同時にドイツ建設技術研究所 (DIBt) による機械換気設備を用いた負圧になりうる環境において、室内空気 (機械換気によるシステム) から独立した運転への条件を満たします。



トップダウン燃焼

T-LINE eco₂ / T-NEO eco₂は上から下へ薪が燃えます。このトップダウン燃焼原理は大気汚染物質の排出量を最小限に抑えます。このクリーン燃焼方式によって、僅かな灰が残るだけです。

そして約2時間にわたり、炎のゆらめきを楽しむことが出来ます。



コンベクションモジュール

T-NEO eco₂ DUOの為のコンベクション・モジュールは、ヒートアップと鎮火の過程を、簡単な指の操作で行う事ができます。燃焼の手助けや初期暖房の間、コンベクション・モジュールを使うかどうか、あなたの希望によって選ぶ事が出来ません。



アクアモジュール

アクアモジュールは家全体へ熱をいきわたらせる為のヒーティングシステムと接続することが出来ます。T-NEO eco₂ Plusは、低エネルギー住宅やパッシブハウスのセントラルヒーティングと相性がピッタリです。

トーンヴェルク蓄熱型ストーブ取扱説明書
目次

1. トーンヴェルク高蓄熱型薪ストーブ — スイス製

- 1.1 蓄熱型ストーブ
- 1.2 放熱

2. 木と自然環境について

- 2.1 木とは?
- 2.2 環境保護
- 2.3 薪の購入
- 2.4 乾燥と保管
- 2.5 樹種と発熱量
- 2.6 木材の計測単位
- 2.7 燃焼中何が起きているのか? (燃焼の仕組み)

3. 承認と認証

- 3.1 承認
- 3.2 Model — 自動閉鎖燃焼室ドア
- 3.3 CE適合
- 3.4 定格銘板
- 3.5 室内空気に依存しない燃焼

4. 防火

- 4.1 燃焼中の排煙自動調整器
- 4.2 ターンディスク無しでの安全距離: T-LINE eco₂ / T-NEO eco₂
- 4.3 ターンディスクを装着した場合での安全距離: T-LINE eco₂ / T-NEO eco₂
- 4.4 一般的な安全基準
- 4.5 煙突の安全基準
- 4.6 運転不調 — 安全の為に使用中止

5. 操作方法について

- 5.1 初めてストーブを使用する前に
- 5.2 トーンヴェルク・ストーブについて
- 5.3 一般事項
 - 5.3.1 燃焼の準備
 - 5.3.2 初期燃焼の注意事項
 - 5.3.3 耐熱塗料の乾燥 (定義)
 - 5.3.4 燃焼室の閉鎖
 - 5.3.5 外気供給と換気システム
 - 5.3.6 季節の変わり目や困難な状況下での暖房
 - 5.3.7 燃焼室ドアの閉鎖・ガスケット: リビングでの換気扇使用
 - 5.3.8 お部屋の気圧

6. ストーブの燃焼 (ストーブの使い方)

- 6.1 DUOモジュール・大放射熱 (オプション)
- 6.2 薪の追加

7. 日常の手入れ

- 7.1 手動空気供給弁
- 7.2 手動空気供給弁の調節
- 7.3 排煙パイプ迄のお掃除

8. 故障かな?と思ったら

9. 保証

- 9.1 保証条件
- 9.2 保証対象外項目

付録 (別紙): 保証書

1. トーンヴェルク高蓄熱型薪ストーブ — スイス製

トーンヴェルク高蓄熱型薪ストーブをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。当社の製品は、皆様方に十分満足していただけるものと確信しております。

この取扱説明書には、トーンヴェルク高蓄熱型薪ストーブ（以下、トーンヴェルク・ストーブ）の取り扱いに必要な情報が全て記載されています。ご使用前に暖房・薪・操作方法についてよく読み、理解した上でトーンヴェルク・ストーブを正しくお使いください。正しい使用は快適な冬の生活に繋がります。この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保管してください。

お客様の疑問が全て解消されることが、我々の喜びでもあります。

エネルギーに対する認識が高まっているこの時代、我々は最小限の熱放出で、薪から得られる最大限のエネルギーを暖房として有効利用することを目的にしました。薪と炎が生み出す熱を効率よく利用していきたいと考えています。

トーンヴェルク・ストーブは、素敵なりビングスペースを演出いたします。

トーンヴェルク・ストーブは革新的なデザインと並み外れたデザイン性で貴方を魅了し、決して失望させることはありません。 — スイス製ハンドメイド

いつでも太陽の暖かさを
感じられます。



古代より石と骨の次に、
木は世界で最も古くから
利用されている素材です。

**トーンヴェルク・ストーブは
あなたの生活に心地よい暖かさを
提供します。**

1.1 蓄熱型ストーブ

蓄熱型ストーブは陶器または天然石で作られています。

木を燃やして生み出されるエネルギーや放熱は、セラミック製の蓄熱体に吸収されます。木材が完全に燃焼された後は、この蓄熱体が熱交換器として機能し、蓄積されたエネルギーを熱として蓄熱体の表面から長時間にわたって外へ放出します。

1.2 放熱

人間の体は薪からの放射熱に、特に心地良く反応します。その熱は生理的に効果があり、心を癒します。

人間は先史時代よりも前から放熱された熱を使ってきました。熱は赤外線の中に含まれる電磁波の作用によって放出されます。放出された熱（育成光線）は損失することなく、空気を暖めずに空気中を通ります。壁や物体、さらには人間のような固体にぶつかり内部に入り込むまで熱を生み出さないので、熱は、内側から電磁波の振動によって生み出されるのです。

この作用は、陽がさんさんと降り注ぐ冬の日、誰もが感じていることでしょう。

この時生み出された熱は実際の温度より暖かく感じます。これは放出された熱の大きな恩恵と放出された熱の持続性に理論です。

2. 木と自然環境について

木 — ナチュラルで合理的

未来は今始まる

2.1 木とは?

トーンヴェルク・ストーブの燃焼室に入れられる木についてどれくらい知っていますか？

木の成分は、炭素約50%、酸素約42%、水素約6%と鉱物、窒素、油、樹脂、なめし剤と着色料等2%です。

…それが木です。

2.2 環境保護

燃えている薪は、木の成長過程で空気中から吸収したCO₂と同量のCO₂のみを放出します。

近場からとれた薪であれば、搬送によるCO₂排出がありません。

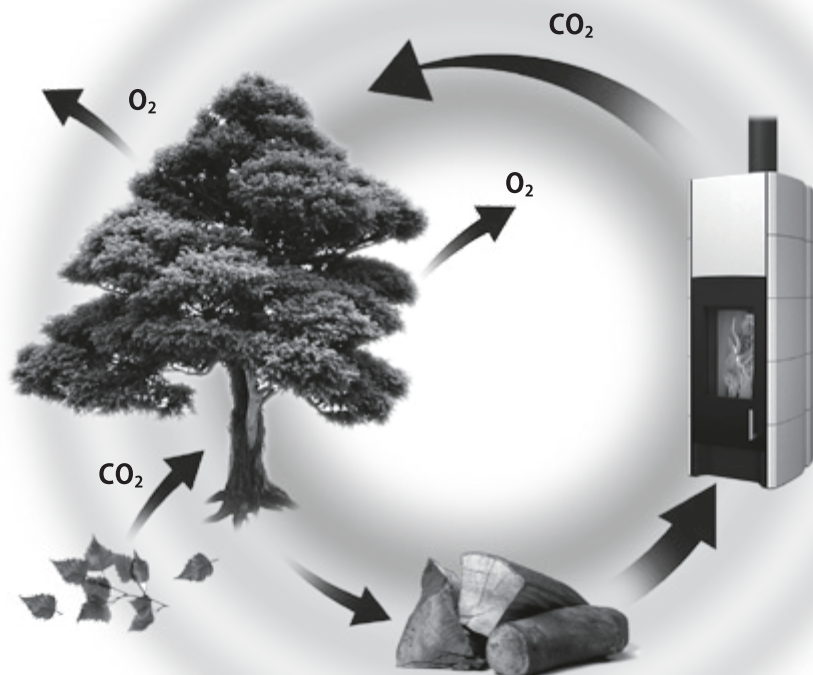
森で腐敗している木は燃えている木と同量のCO₂を排出します。



木は温暖化には貢献しません。



木は蓄えられた
太陽エネルギーです。



2.3 薪の購入

薪はどこで入手しますか？

処理済み薪の購入：

再生、処理済み薪は業者（薪屋、又は燃料屋）から購入することが出来ます。いくつか種類があります：

- ・最低2年間の乾燥期間を終え、即使用可能な薪。
- ・予備乾燥され、1年間保管された薪。
- ・森より取れたての新鮮な薪。

薪販売業者は、湿度計測器を使って薪の湿度を計測します。理想的な含水率は12%~15%で、これ以上高い含水率であってはなりません。

お客様が薪作りをされる場合：

原木を森林組合や山林所有者又はコミュニティー購入することが出来ます。

- ・森で切り倒されている樹木
- ・道路傍に放置されている樹木

薪を購入しても、個人で用意しても、肝心なことは：

薪が燃やされるまで、最低2年間は乾燥させなければいけません。

2.4 乾燥と保管

乾燥

薪の含水量は燃焼に大きな影響を与えます。最大限に乾燥した薪のみが多く熱を生み出し、環境を汚染することなく燃焼されます。立ち木は伐採された季節や樹種によって約45%~60%の含水量があります。薪として最適に乾いた後、この含水率は15%以下に減少します。樹種によっても異なりますが、約2年の乾燥期間が必要で、更に長い乾燥期間が必要となる樹種もあります。



湿っぽい薪はストーブにダメージを与え、発熱量を減少させます。

保管

薪を完全に乾かすには、細く割らなければなりません。

チェック：

薪一本の最大円周は20~25cmが最適です。野外に保管し雨・雪が当たらない様にして、風通しが良好であることを確認してください。



燃やしてはいけないものは何？
廃材・湿った薪・練炭（人口薪）など。

2.5 樹種と発熱量

発熱量とは1kgの燃料（薪）を特定の状況下で燃やされる時に発熱されるエネルギーを表します。

発熱量は投入される薪の立方メートルに基づきます。

樹種によって発熱量は異なります。

木材	発熱量
広葉樹	
ブナ・コナラ・イナゴマメ	2100 kWh/stcm
樺	1900 kWh/stcm
クワ	1900 kWh/stcm
針葉樹	
米松・松	1700 kWh/stcm
カラマツ	1700 kWh/stcm
トウヒ・モミ	1500 kWh/stcm

含水率15%の薪に基づく。

トーンヴェルク・ストーブは上記の全ての木を燃やすことが出来ます。



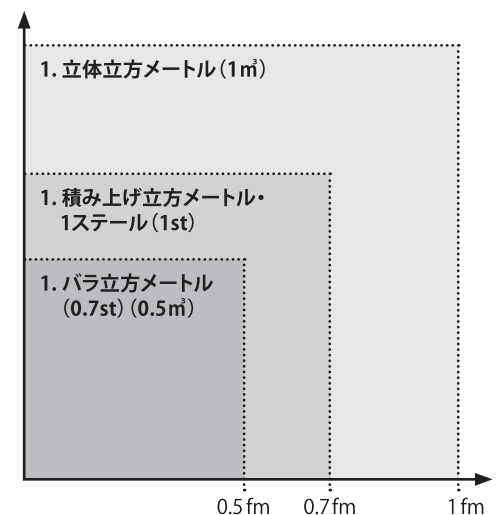
カラマツは多くの油と樹脂を含み非常に高温になります。

2.6 木材の計測単位

立体立方メートル：立体立方メートルとは積み上げられた薪と異なり、立体になった立方メートルの単位。

積み上げ立方メートル(m³)、ステール(st)：1積み上げ立方メートルやステールとは積み上げられた薪の空間を含む1立方メートル。1ステールは0.7立体立方メートルと同量。

バラ立方メートル(m³)：バラ立方メートルとは、取引や搬送用にゆるく包装された薪の単位。1バラ立方メートルは0.7ステールや0.5立体立方メートルと同量。



2.7 燃焼中何が起こっているのか? (燃焼の仕組み)

燃焼とは、炎を形成する物質が急激に酸化する過程です。木が燃焼するとき、空気中の酸素は木の中に炭素と水素を取り込みます。其の過程でエネルギーは熱と光になって放出されます。理想的な燃焼で生成されるのは二酸化炭素と灰(主成分は珪物)と水だけです。

薪の燃焼プロセスは大きく3段階に分けられます。

暖房と乾燥 第1段階では、薪に含まれる水と他の揮発性物質が蒸発します。

熱分解 第2段階では、約150℃の温度から熱分解が始まります。

実際の燃焼 第3段階では、最初の2段階で生成されたガスが吸気中の酸素と反応し、二酸化炭素と水を形成します。残留している炭素は燃焼領域の中で時間をかけて完全に燃えます。灰だけは燃焼残留物として残ります。これらの各燃焼段階はたき火などで簡単に確認することが出来ます。



燃えている薪は、環境保護に貢献します。



燃焼には、燃焼物・酸素・熱源の3つの要素が必要です。

3. 承認と認証

3.1 承認

EN15250室内空気に依存しないドイツ建設技術研究所によって、トーンヴェルク・ストーブはテストされました。

3.2 Model — 自動閉鎖燃焼室ドア

トーンヴェルク・ストーブは燃焼室自動クローザー安全装置を標準で備えています。これは操作と安全性において重要な機能です。ドアから手を離しますと、自動的に締まります。従ってトーンヴェルク・ストーブは複数のストーブが繋がれている煙突に適しています。

3.3 CE適合

トーンヴェルク・ラウゼン(株)(製造者)は、トーンヴェルク高蓄熱型薪ストーブがEN15250で定められた規格に適合することを確認し、品質が常に管理されていることを確認しています。

3.4 定格銘板

定格銘板は、ドアの内側に貼ってあります。

3.5 室内空気に依存しない燃焼

室内空気に依存しない運転をするにはストーブの下から外気を直接供給します。必ず接続経路及び接続部は高气密でなくてはならない。これは非常に重要で、軽視してはならない。トーンヴェルク・ストーブは共同煙突によっても運転出来る様に設計されています。

定期的に燃焼室ドアが正しく閉まり空気と可燃性ガスが漏れないかを確認して下さい。

また稀なケースとして集合住宅等で設置されている複数代のストーブが接続出来る集合煙突への接続は、スイスの煙突協会が定める方法でのみ行う事ができます。一般的な煙突には複数代のストーブを接続出来ません。ストーブの使用法、各部屋の気密、換気システム、外気供給等によって様々なトラブルが発生する可能性がありますので、十分注意して下さい。

4. 防火

使用者は国家とヨーロッパ基準、各地方(国や地域)の建築法規、そして防火条件を厳守しなければなりません。地区によって異なりますので、お近くのTONWERK正規代理店(Tonwerk Lausen AG総代理店青い空)または、建築事務所などの専門の業者にお問い合わせください。

4.1 燃焼中の排煙自動調整器

一定の煙道ドラフトを保証するためにドラフトレギュレーター(排煙自動調整器)を取り付けることが賢明である。

トーンヴェルク・ラウゼン(株)(製造者)は、トーンヴェルク高蓄熱型薪ストーブがEN15250で定められた規格に適合することを確認し、品質が常に管理されていることを確認しています。

補足■蓄熱ストーブの規格EN15250(蓄熱ストーブ型式検査用)

2007年に待望された規格EN15250がヨーロッパで導入され、やっと蓄熱ストーブに関する規則書が出来ました。それにより蓄熱ストーブの品質に関して客観的測定の基礎が提示され、測定基準が定義されました。こうしてヨーロッパでは、持続燃焼ストーブ(規格EN13240)と蓄熱ストーブ(規格EN15250)の間に、明確な境界線が引かれたのです。それに関わらず、多くの薪ストーブメーカーは未だに蓄熱室のない蓄熱煙突ストーブあるいはストーブ本体に蓄熱板を付けただけの煙突ストーブ(一般的な薪ストーブ)といった概念を利用しています。しかし、その熱放出の経過特性は、少量の薪充填を何度も繰り返すことによって作られており、実際には非現実的な使い方によってしか経過特性を達成することができません。それらのストーブは本来の蓄熱型薪ストーブの概念からはかけ離れた構造と使い方によって構成されています。

4.2 ターンディスク無しでの安全距離:T-LINE eco₂ / T-NEO eco₂

安全距離A

側面及び背面は10cm以内に可燃物を設けてはいけません。

安全距離B

煙突は20cm以内に可燃物を設けてはいけません。

安全距離CとD

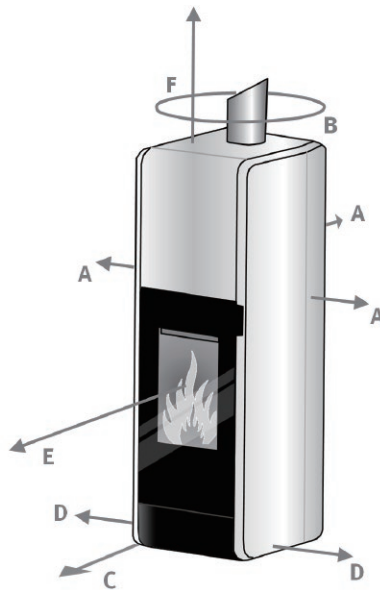
可燃性床材料は、前面50cm・側面30cm以内に設けてはいけません。

安全距離E

燃焼室が開いている状態の時、80cm以内に燃え易いもの(新聞紙・雑誌・家具)などを置いてはいけません。

安全距離F

天井からの最低必要距離は50cmです。



4.3 ターンディスクを装着した場合での安全距離:T-LINE eco₂ / T-NEO eco₂

安全距離A

側面及び背面は10cm以内に可燃物を設けてはいけません。

安全距離B

煙突は20cm以内に可燃物を設けてはいけません。

安全距離CとD

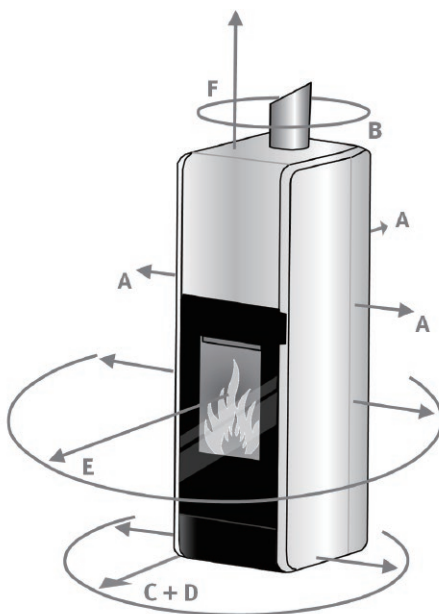
可燃性床材料は、前面50cm・側面50cm以内に設けてはいけません。

安全距離E

燃焼室が開いている状態の時、80cm以内に燃え易いもの(新聞紙・雑誌・家具)などを置いてはいけません。

安全距離F

天井からの最低必要距離は50cmです。



4.4 一般的な安全基準

- ・小さなお子様をストーブの近くで遊ばせたり、一人でお子様から目を離さないでください。
- ・お子様にはストーブ廻りでの振る舞いおよび安全なストーブ操作方法を教えてください。
- ・燃焼中のストーブは高温になりますので、火傷にご注意下さい。火災危険!
- ・ゴミ又は塗装されている木は燃やさないで下さい。
- ・ストーブが完全に冷えてから、灰を取り除いて下さい。(48時間以上不燃材で出来た器やバケツの中で保管した後、完全に火が消えていることを確認した後、他のゴミと一緒に処分して下さい。)
- ・ドアなどのガスケットが破損した場合は、正規代理店にお知らせ下さい。
- ・取扱説明書の説明を遵守し、火災予防の努力と環境保護を守ってください。

4.5 煙突の安全基準

トーンヴェルク・ストーブが設置される前に専門家によって正しく設置され、煙突の機能が正しく働くかを調べなくてはなりません。正しい設置はトラブル・フリーな暖房のカギです。

もし煙突に何か欠陥があった場合は、直ちに専門家を呼んで下さい。

4.6 運転不調 — 安全の為に使用中止

稀に煙突が機能しない事があります。(逆流又は煙突接続部からの煙漏れ)

その場合は、専門家からアドバイスをしてもらってください。

絶対にそれ以上燃やさないで下さい。煙がストーブ等から漏れる場合は直ちに部屋の換気を行い設置業者又は青い空迄ご連絡してください。その時ストーブの使用は控えて下さい。

5. 操作方法について

5.1 初めてストーブを使用する前に

お客様へ

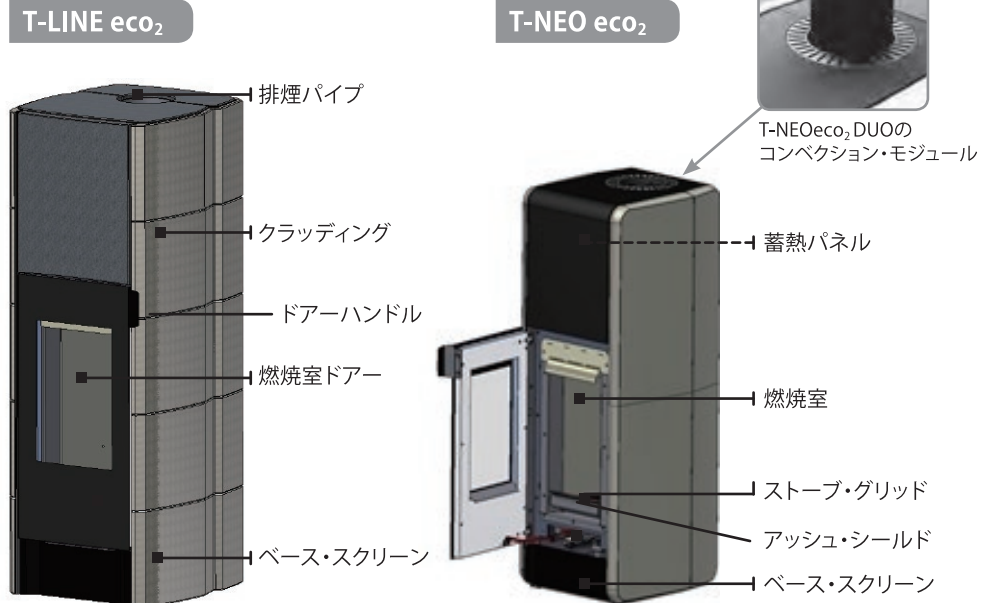
必ず正規代理店よりトーンヴェルク・ストーブの正しい使用方法をお聞きください。

下記の操作手順はトーンヴェルク・ストーブの使用中に不具合が起きた場合の処置を説明します。

操作方法をよく読み、いつでも見ることができるところに必ず保管してください。もし何か不具合がありましたら、トーンヴェルク正規代理店にお問い合わせください。

5.2 トーンヴェルク・ストーブについて

各部名称



5.3 一般事項

5.3.1 燃焼の準備

薪と環境に優しい着火材、焚き付け用の細割薪を用意します。
薪は使用される数日前に、部屋の暖かい場所に保管されることが最適です。

5.3.2 初期燃焼の注意事項

1. ストーブの最初の使用を開始するときは、規定の量 (6kg) の3/4 (約4kg) 以上の薪をご使用ください。
2. 繰り返し薪を投入するときは、約16時間～18時間経過してから満杯の薪又は所望の薪量を投入して下さい。

5.3.3 耐熱塗料の乾燥 (定着)

使用を繰り返していくうちに耐熱塗料は定着し強固な塗膜になります。その間暫く、煙突に塗られている耐熱塗料はガスを発生し臭いを伴います。
この時、部屋の換気は十分に行ってください。

5.3.4 燃焼室の閉鎖

燃焼室ドアが確実に閉まる事により、適切な燃焼と燃焼室のメンテナンスが可能になります。
もしあなたのストーブが御自宅あるいは集合住宅で換気システムと一緒に使用された場合、ドアは自動で閉まります。
ドアロックを使用する事はお客様自身にリスクが生じます。
操作に於いて注意する事は、煙の逆流を防ぐ為にドアが確実に閉まっているか確認して下さい。

5.3.5 外気供給と換気システム

お台所の換気システムはトーンヴェルク・ストーブの運転に影響を及ぼします。ストーブを複数台設置の場合、十分な外気が供給されていることを確認してください。

5.3.6 季節の変わり目や困難な状況下での暖房

湿度の高い日や、霧が発生している天気や外気温が15度、季節の変わり目などでは排煙を誘発させる為の予備燃焼をお勧めします。予備燃焼は煙突内の冷たく重い空気を

置き換え、最適な排煙のための条件を整えます。
この予備燃焼は煙突の点検口で紙などに火を点けられることによって、十分な煙突効果を誘導します。

5.3.7 燃焼室ドアの閉鎖・ガスケット：リビングでの換気扇使用

常に燃焼室ドアが閉まっている事とドアガスケットが破損していないか確認して下さい。



ドアガスケットの不備は可燃性ガスが室内に漏れ、健康被害の原因になります。

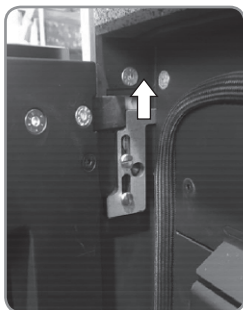
5.3.8 お部屋の気圧

お部屋の換気システムによる室内外の気圧差は、4Paを超えないようにして下さい。

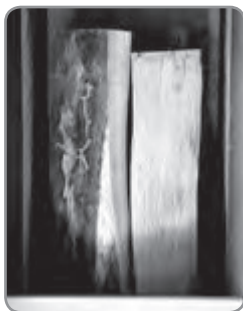


ストーブが設置されている部屋の不圧は4Paを超えてはならない。

6. ストープの燃焼 (ストーブの使い方)

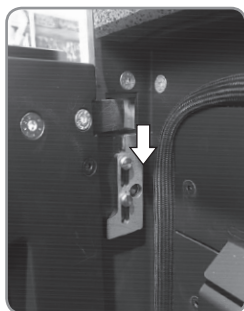


十分な薪、着火材、焚き付けそしてマッチをご用意ください。
ドアハンドルを開けたら、上部ヒンジのストッパーを上押ししてドアを開けたままの状態にします。



薪を燃焼室やや後方へ傾けてセットしてください。最初に投入された薪は、燃焼室後ろの壁に当たってなければなりません。投入された薪は燃焼室の壁から約2cm離すようにしてください。薪でアッシュ・シールドを覆うことはやめてください。

推奨：ストーブ燃焼室には約6kg、または長さ33cmに切られた薪6本程度をご使用ください。



着火を行ってください。燃焼室を少し開けることによってストッパーが外れます。ドアから手を離すと、**燃焼室ドアは自動で閉まりロックされます。**

薪は上から下へ燃えていきます。2時間ほどで燃え尽きます。燃焼が終わり熾きが燃焼室内に残りましたら、空気弁は自動で閉じます。

重要!

燃焼中は燃焼室ドアをあけないで下さい。エネルギーは木が勢い良く燃えている時だけ全て放出され、蓄熱体に吸収されます。



ストーブが外気供給に接続されていない場合、燃焼中、常に部屋の換気が充分にされているか確認してください。

6.1 DUOモジュール・大放射熱(オプション)

放射熱をさらに求める場合、放熱から鎮火迄の過程で、しっかり蓄熱した後コンベクションモジュールを所望の開口率又は全開にして下さい。開口はレバーをAの位置まで押しして下さい。最大45°。さらに強い放熱が必要なときは、DUOモジュールを初期の位置迄戻して調整して下さい。火が鎮火し、蓄熱後の放熱を利用したいときは、コンベクションモジュールは閉じて下さい。DUOモジュールの操作で、ダイレクトの放熱を減らしたり早くストーブを冷やすことができます。



コンベクションモジュールは非常に熱い空気が流れています。コンベクションモジュールのレバー操作のみならず、ストーブの使用時には、必ず付属のグローブを着用して操作して下さい。

6.2 薪の追加



放熱時間を長くしたい時は、熾燃焼があるときに2本の薪を投入して下さい。
尚2kg以上の薪は再投入しないで下さい。

燃焼室ドアはゆっくり開け、最初僅かな隙間を作ります。最初は少しだけ開けて、燃焼室の圧力と室内の圧力が等しくなるにしてください。これは室内への灰の飛散を抑えます。熾を燃焼室に均等に広げ、再度燃焼室後ろの壁にもたれさせて置き、ドアを閉めて下さい。再投入された薪は、下から上へ2~3分の間に燃え出します。

追加薪は、1時間につき、2kg以下にしてください。アッシュ・シールドより熾が高くなった時は、薪の再投入は行わないで下さい。



もし火が完全に鎮火した時とわずかな熾きが灰の中に残っている時、手動空気弁を押して燃焼用空気を閉じる事もできます。

その結果、より長時間蓄熱された熱を放出します。

たとえ手で空気弁を閉じなくても、火が消えた後自動で空気弁は閉じます。



外気供給しないで使用している場合の上記作業中は、確実に室内の窓が開いている事が求められます。

7. 日常の手入れ

灰受け皿が一杯になりましたら、灰を処分して下さい。

必ずストーブが完全に冷えてから行ってください。処分は48時間以上バケツなどの不燃材の容器で保管し、完全に火が消えていることを確認してから行ってください。熾きが残っていると危険です。もしガラスを綺麗にしたい時は、ぬれた布に灰を付けてガラスを拭いて頂くと綺麗にすることができます。もしガラスクリーナーを使用する場合は、ガラスとドアの間に液体が入らない様に注意して下さい。

ドアを開けてお掃除をしている時は、空気の供給フラップは開けて行って下さい。

再び火をつける前にこの作業を行って下さい。燃焼中やまだガラスが暖かい時にはこの作業をしない様にして下さい。

ラフクラディング(コの字型のサイドパネル)の表面のゴミやほこりは、掃除機で吸い取ってください。掃除機に付属されている柔らかいブラシを使用すると効果的です。

磨き仕上げ前面蓄熱パネルは、湿らせた布で拭いてください。頑固な汚れの場合、付属のクリーニングストーンを使います。本体を硬いブラシや化学洗剤で拭かないでください。ストーブの機能を最適に保つには、年1度の煙突掃除とストーブのお手入れが不可欠です。

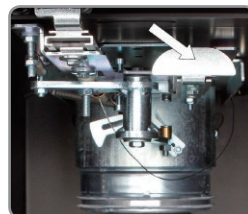
7.1 手動空気供給弁

長期間に亘りストーブを御使用にならなかったりドアをあけない場合は、手動空気供給弁を押し、空気供給を止めて下さい。



燃焼中は、どんなことがあっても手動空気供給弁を押して、燃焼用空気の供給を止めないで下さい。

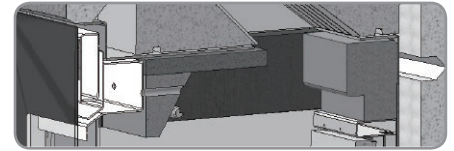
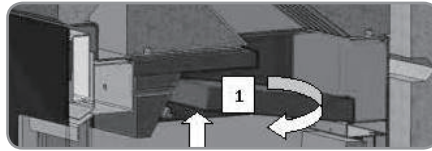
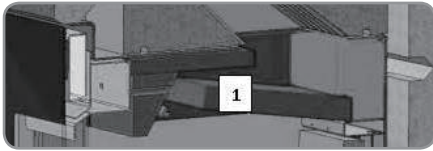
7.2 手動空気供給弁の調節



10cm程の長さのドライバーを使って、ドアガラスとベース・スクリーンの間から行って下さい。

手動空気供給弁の調節は必ずドアが閉まっている時にだけ行って下さい。

7.3 排煙パイプ迄のお掃除



燃焼室ドアを開けロックして下さい。バルブプレート(1)を押し軽く上に持ち上げゆっくりと燃焼室から引き出して下さい。バルブプレート(1)はお掃除の為に外されます。

カバープレートの外し方は、ふたつのネジを外し燃焼室カバーから持ち上げます。



煙突接続上部



煙突接続上部



煙突接続背面



煙突接続背面

適切なブラシでストーブパイプと排気口を掃き、掃除機で煤やゴミを取り除いて下さい。エレメントを元の位置に戻し、金属プレートをネジで留めてください。シール(ガスケット)が確実に装着されていることを確認してください。

8. 故障かな?と思ったら

薪に火がつかない・くすぶるだけ・火が消える場合:

- ・ドアハンドルを垂直の位置へ動かして下さい。
- ・不適切な焚きつけ。
- ・薪が湿っている。
- ・薪が太すぎる。
- ・ダンパーを全開にして下さい。

燃焼室が黒く汚れる・窓が黒く汚れる場合:

- ・十分な燃焼用空気を供給して下さい。
- ・薪が少なすぎる。
- ・薪が湿っているか、太すぎる。
- ・煙突ダンパーを全開にして下さい。

煙がストーブから漏れる

- ・予備燃焼で煙突の吸引力を確保して下さい。
- ・十分な空気の供給を確保してください。

上記の方法でも問題が解決しない場合は、トーンヴェルク正規代理店にお問い合わせください。

私達の願いはトーンヴェルク高蓄熱型薪ストーブと共に多くの楽しい時間を過ごしていただくことです。

9. 保証

トーンヴェルク・ストーブの保証の有効期間は5年間です。保証期間はストーブがトーンヴェルク正規代理店によって設置され、試運転が完了した日から始まります。保証クレームはストーブの購入代金が購入契約書に従い支払われ、保証書のコピーが30日以内にトーンヴェルク・ラウゼン社に返送された後有効となります。これらの条件が一つでも満たされない場合、6ヶ月の最低保証期間が適用されます。

9.1 保証条件

- ・トーンヴェルク正規代理店による適切な設置であること。
- ・取扱説明書に記載されている使い方が守られていること。
- ・ストーブが連続的な燃焼でないこと。
- ・ストーブがオーバーヒートされていないこと。
- ・ストーブが定期的にメンテナンスされ、お手入れされていること(最低1年に一回)。
- ・ストーブを改造せず使われていること。
- ・正規オリジナル部品が使われていること。

9.2 保証対象外項目

下記の項目は保証期間中にかかわらず、保証の対象となりません。

- ・消耗品: ガスケット、鋳物格子、燃焼室内耐火煉瓦、ガラス等
- ・煙と煤の汚れ。
- ・クラッキングの自然な変色、不均等な変色。
- ・燃焼室内耐火煉瓦のひび割れは、トーンヴェルク・ストーブの安全性に影響を与えません。
- ・取扱説明書に記載されている取り扱い方法が守られなかった場合の損傷。
- ・その他の保険や契約によって保証されている損傷。

保証証明書

トーンヴェルク・ストーブの保証の有効期間は5年間です。保証期間はストーブがトーンヴェルク正規代理店によって設置され、試運転が完了した日から始まります。保証クレームはストーブの購入代金が購入契約書に従い支払われ、保証書のコピーが30日以内にトーンヴェルク・ラウゼン社に返送された後有効となります。これらの条件が一つでも満たされない場合、6ヶ月の最低保証期間が適用されます。



Tonwerk Lausen AG 日本総代理店 **青い空**
Tonwerk Stoveの設置・メンテナンス

〒487-0032 愛知県春日井市高森台6-13-10

TEL:0568.91.2040 FAX:0568.92.4860

E-mail:info@woodstove.ne.jp

Web:www.woodstove.voo.jp

〈営業時間〉AM9:00~PM6:00

TONWERK 



SPEICHERÖFEN
MADE IN SWITZERLAND